

NPO エールインタビューNo.002

NPO 法人クラブぽっと さま

【団体概要】

団体名:NPO 法人クラブぽっと

事業開始年月:2013年6月(設立は4月)

所在地:石川県金沢市

代表者:佐川哲也

URL: <http://morispo.sa-suke.com/>

事業目的:地域住民に対する運動・スポーツ活動と文化活動の振興に

関する事業を行い、会員の資質向上及び会員相互の親睦と交流を図り、子どもたちをはじめ地域住民の健全な心身の育成に寄与すること、健康あふれる楽しいまちづくりに貢献すること。

【インタビュー実施日:2014年12月】

聞き手:ひがし行政書士事務所 代表 東 真稔(ひがし・まさとし)

話し手:NPO 法人クラブぽっと マネージャー 森 亮太(もり・りょうた)さん



■ 社会的責任をとるという覚悟が、法人設立のきっかけに

東) クラブぽっとさんは 2013 年の 4 月が NPO 法人の設立ですが、それ以前から任意団体で活動をされていたんですね？

森) はい。「杜の里スポーツクラブ」という名前で任意団体を設立したのが 2009 年の 3 月ですから、4 年間くらい任意団体で活動していました。

東) そもそも任意団体としてスポーツクラブの活動をはじめたのはなぜですか？

森) 当時、国が行政主導の公共サービスではなく、地域住民が自主的に運営する総合型地域スポーツクラブの設立を推進しているという話を聞きまして…ああ面白そうだなと思ったら、たまたま当時県の事業担当者が知り合いだったんです。そこでやってみたらどうかと言われてまして(笑)

東) なるほど、そこで興味ある方たちを集ってスタートされたということですか？

森) ええ。地元の大学教授や大学生、地域の方にも声をかけ当初は 15 名ほどのスタッフで任意団体を立ち上げました。

東) 任意団体から法人にしたのは何か理由があったのでしょうか？

森) 任意団体でも事業は機能していたので、法人化を急いでいた訳ではなかったんです。ですが、活動が本格化していくにつれ、次第に扱うお金の金額が大きくなっていったのがひとつのきっかけになりましたね。任意団体だと、何かあった時に個人の責任になってしまうので、法人化して社会的責任をとるべきだと思ったんです。

東) 法人形態では最初から NPO にしよう？

森) いいえ。候補としてあがったのは NPO 法人と一般社団法人、株式会社などです。そこからそれぞれの法人形態を調べて、自分たちの目指す理念や社会的責任、社会的信用面などと照らし合わせて判断しました。ほかに社会的認知度や信頼度の点から見ても NPO 法人がいいという声が多かったです。

東) “なんとなく”ではなく、しっかりと理念に沿ったものを選んだ結果が NPO だったということですね。移行はすんなりといきましたか？

森) 団体の時から組織のあり方や理念、それぞれの立場や役割といったものは明確

にあったので、そのままスムーズに移行できました。

■ 今後の課題は補助金が終わった後の資金確保

東) NPO 法人になって、一番苦勞しているのは何ですか？

森) やっぱり資金の確保ですかね(笑)

東) やっぱり資金ですか(笑) 助成金などの状況はどうでしょう？

森) 5年間はスポーツ振興の助成金がありましたので、それをもとに事業展開をすることができました。しかし、6年目の今年からは助成金はもらえないので、自分たちでなんとかするしかありません。法人として人件費や税金の支払いは当然あるので、今後の資金に関してはどうしても厳しい見方になりますね。

東) 新たにほかの助成金を探すということも？

森) もちろん、条件さえ整えばそれもアリだと思います。ただ、金沢市の場合は市内全域をカバーする事業でないと委託事業の対象にならないものが多いんです。私たちの事業規模だと市内全域をカバーするのは難しいので、狙える委託事業がないというのが現実です。

東) なるほど。ほかに苦勞していることはありますか？

森) うーん、これは NPO 法人全体に言えることなんですけど、“NPO 法人＝ボランティア団体”とか、“NPO 法人＝収益を出してはいけない”など、NPO に対して間違った認識があるのが残念です。

東) ああ、そういった認識はけっこうありそうですね。NPO も法人なので採算がとれる事業をしなくてははいけないのですが……。

森) そう、この誤解に苦しんでいる NPO 法人ってけっこう多いんじゃないでしょうか。例えば民間と同じクオリティのサービスを提供していても「一般企業より NPO は安いはずだ」みたいに思われるのは、ちょっと違うでしょうと言いたいです。

東) その辺りは NPO 法人全体でもっと PR して、誤解を解いていく必要がありますね。

■ 地域との交流から生まれるコミュニティ

東) NPO 法人を運営してきてうれしかったことは何でしょう？

森) やっぱり自分たちがやったことが成果になって現れるとうれしいですね。

東) 例えばどんなことでしょうか？

森) うーん。例えば事業の中で小学生を対象に理科の実験をする寺子屋をやっているんですが、その子たちが小学校の理科の成績が上がったと報告してきた時とか(笑)、ほかにもスタッフとして活動に参加していた大学生が、クラブぽっとでの経験を生かして就職決まったとか(笑) 本当に小さなことなんですけど、そういうことを聞くのはやっぱりうれしいです。

東) いいですね。人に感謝され、笑顔にする事業ですね。

森) そうですね。私**たちは地域との交流があって、そこからコミュニティが生まれると**思っているんです。例えばこの地区は大学生が多い反面、昔から住んでいる地域住民の方も多い。大学生はこの地域のことなんて何も知らないし、地域住民にとっては大学生なんて「騒々しくて地区のゴミ出しの始末も悪いやつらだ」とマイナスのイメージしか持っていない(笑)。この両者は放っておけば何の接点もないのですが、私たちの事業を通じて両者の交流が生まれると……

東) 互いにコミュニケーションをとりだす？

森) ええ。大学生が地域住民から地元のお勧め情報を聞いて、床屋やクリーニング店を利用するようになったりして、いつの間にか両者が仲良くなっている(笑)。**そういった繋がりがいくつもできて、重なりあったり絡みあったりしてコミュニティが生まれ、それが地域の活性化につながっていくんじゃないかなと思います。**

■ 活動は理念にそっているか？ブレはないか？

東) クラブぽっとさんが活動を活発化させるうえで、大切にしていることって何ですか？

森) **地味ですが、コツコツと情報発信してコミュニケーションを大切にすること**で

すかね。

東)活動をPRしていくということでしょうか？

森)活動PRもちろんですけど、まず「クラブぽつというNPO法人はこういうことを理念として、こういうことをしたいと考えています」という立場を理解していただきたいと思っています。

東)存在する意義をハッキリさせるといったことでしょうか？

森)そうですね。立場を理解してもらえれば、おのずと活動内容もわかってもらえるので。

東)クラブぽつさんの活動は地域密着ですから、説明の対象は地域の方々になりますよね。

森)はい、そういった意味もあって、子ども会など地域が関係する集まりにはなるべくスタッフが顔を出すようにしています。もちろん集まりに顔を出したからといって毎回活動PRができる訳ではないのですが、とにかく通って積極的にコミュニケーションをとることが大切なんです。そうやって1年も通っているとお互い顔もやっていることもわかってくるので、「ああ、先日のアレはよかったねー」なんて声をかけられたりして…

東)手間がかかっても情報発信を続けるというのは、なかなか難しいことですよね。

森)自分がやりたいことでなければこんな面倒なこと続けられないでしょうね。でも「やりたい」とか「好き」と思えると、自然とがんばれるんです。なので、手伝ってくれる学生スタッフもその学生の意欲が生かせるように、なるべくやりたい分野を優先してやってもらうように心がけています。

東)適材適所といったことですね。

森)人材は有限ですから、人を上手に活用することは組織にとって非常に重要だと思います。理念を理解していて、ある程度の経験があれば思い切って何かをらせてみる…とか、スタッフのやる気を引き出すことが必要ですね。

東)組織の人材活用は確かに大切なことですね。あと最後にもうひとつ。NPO法人を長く継続するには何が重要だと思われますか？

森) やはり、“理念”や“想い”が大切だと思います。お金があっても理念がなくては続かないと思いますし、自分たちの活動が理念から離れれば支持者もいなくなってしまう。自分たちの活動が理念にそったものなのかは常にチェックして、それにブレがなければ長く活動できるのではないのでしょうか。

東) 理念や活動にブレがない・・・まさにその通りですね。最後に大切なことをお聞きした気がします。ありがとうございました。

森) ありがとうございました。

【～社会起業を志している後輩たちにメッセージ～】

最後に森さんから皆さんへメッセージをいただきました！

“なぜそれをやろうとしたのか”といった想いを大切にしたいと思えます。そして、その想いをぜひ積極的にアウトプット(発信)して行ってください。「こんなことやりたい!」「こういう理念でやっている!」といった熱い想いを発信し続けていたら、きっと周囲に応援してくれる人が集まってくると思えます。そういう人たちと仲間になればアイデアも豊富になるし、何より盛り上がり面白くできると思えますよ。

